

二、入賞者

応募九十七編の中から、審査の結果次の論文及び実践記録を入賞とした。

(一) 特選者

氏名	所属校・職名	研究主題名
吉岡栄一	平第一小学校教諭	(理科) 探究しようとする能力を育成するには問題構成の段階でどのような演示実験を行うか
国分長次	本宮第二中学校教諭	(数学) 誤答事例からみた生徒の思考の様相について
坂本キヨ子	金透小学校教諭	(図画工作) 一人一人を高める絵画指導
矢部フミ	喜多方市立養護学校教諭	(特殊教育) 自閉児M子の治療教育に関する実践的研究

(二) 入選者

根本英雄	田島中学校教諭	(評価) 事前テストの結果から授業を展開するための基礎研究
松本英夫	油井小学校教諭	(国語) 新出漢字の書字力を高めるための指導
佐藤嘉之	針道中学校教諭	(社会) 歴史学習におけるわかる授業の実践をめざして
斎藤哲夫	表郷第一小学校教頭	(国語) 現場での児童詩指導
若松千代子	小名浜第二小学校教諭	(国語) 一年生入門期におけるひらかな文字指導
佐藤紀子	野沢小学校教諭	(算数) 児童一人一人の能力を伸ばす指導をめざして

宇野早智子	坂下小学校養護教諭	(保健) 児童の疾病異常の実態とそれに基づく指導の実際
矢内千秋	小高小学校教諭	(音楽) 音楽を愛好させ基礎力をつけ一人だちさせるための指導
今泉清司	渡利中学校教諭	(美術) 表現力を高める美術科の指導をどう進めたか
穂積清子	本宮小学校教諭	(特殊教育) 児童の精神発育の遅滞程度及び特性に即した教育を行うためにどのような教育課程を編成し指導したか

三、審査

(一) 審査基準

- 研究対象、実践意図の適切性
- 研究計画、内容の適切性
- 資料及び解釈の適切性
- 研究成果の有効性
- 実践過程の評価改善
- 論旨の一貫性、まとめの適切性

(二) 審査

各教育事務所並びに義務教育課において予備審査を行い、十一月十三日、大仏荘において、次の審査委員によって本審査を行った。

- 審査委員長 郡山女子短期大学教授 長谷川寿郎
- 審査委員 学校法人福島工業高等学校長 栗原喜蔵
- 審査委員 福島大学教育学部教授 蜂谷剛

同 大沢貞一郎

四、講評

(一) 主題の設定について

- 明確な目的意識をもって、具体的な問題をとりあげること。
- (二) 論述のしかたについて
 - 仮説の検証がふじゅうぶんである。仮説は、一人一人について指導しその変容を具体的には握ること。
 - 資料は、論証に必要なものに精選し、再構成を図ること。
- (三) まとめ方について
 - 仮説と検証結果を照応させ、実証的にまとめること。
 - 論旨と資料や参考(引用)文献との区別を明確にすること。
- (四) 今後配慮すること
 - 添付資料は精選すること。
 - 研究の目的を明確にし、変容について確かなまとめ方をくふうすること。
 - 形式にとらわれないうで、内容を掘り下げる研究を進めること。
 - 用語の使い方を吟味すること。